

SARS-CoV-2

~ From the Narrative Review ~
Prevalence of Asymptomatic SARS-CoV-2 Infection

- ◆ The likelihood that approximately 40% to 45% of those infected with SARS-CoV-2 will remain asymptomatic suggests that the virus might have greater potential than previously estimated to spread silently and deeply through human populations.
- ◆ The absence of COVID-19 symptoms in persons infected with SARS-CoV-2 might not necessarily imply an absence of harm.
- ◆ The focus of testing programs for SARS-CoV-2 should be substantially broadened to include persons who do not have symptoms of COVID-19.

SARS-CoV-2 感染者の約 40%~45%もの人が無症状である可能性を示唆したナラティブレビューをご紹介します。

「感染しているが症状がない」ということを楽観的に捉えることは大変危険であり、必ずしも「害がない」ということを意味するとは限らないのだと記されています。無症状ゆえに引き起こされる弊害について、次の2点を挙げています。

1 つは、無症状であっても感染は成立しているということ。そのため、肺異常と関連している可能性があるということです。

そしてもう1つは、無症状の人がサイレント伝播を引き起こし、パンデミックの重要な鍵を握る可能性に対する懸念です。このレビューでは、世界中「無症状」に関し、様々なコホートについてまとめられています。しかしながら、無症状の人と単に発症前の人とを区別することがとても難しいので、「パンデミックが無症状の人を原因として引き起こされている」と単純に言い切れるものではないということも強調しています。あくまでも「重要な要因である可能性」を示唆しており、この課題に対処するには、医療行為と公衆衛生対策を修正する必要があるだろうと述べられています。

無症状の SARS-CoV-2 感染の流行についてのナラティブレビュー

Oran, Daniel P., and Eric J. Topol. "Prevalence of Asymptomatic SARS-CoV-2 Infection: A Narrative Review." *Annals of Internal Medicine* (2020).